

会社は社員一人ひとりが輝く「人間村」 ①学び舎、②技術村、③文化村で人材育成

同社は精度が求められる精密石材製品から船舶用クレーンの大型製品等、開発・設計・製造からアフターサービスまで一気通貫のモノづくり体制に強みをもつ産業機械メーカーである。「限りなく人間ひろばを求めて」を基本理念とし、会社を社員が充実した豊かな毎日を送るための「人間村」と定義して、その基盤となる人づくりのために「学び舎」「技術村」「文化村」の3つの活動を通じ、積極的に人材育成に取り組んでいる。

- | | | | |
|----------|---|--------|----------|
| ● 所在地 | 岐阜県不破郡関ヶ原町2067 | ● 設立 | 1946年 |
| ● 電話/FAX | 058-443-1212/058-443-1929 | ● 資本金 | 24,700万円 |
| ● URL | https://www.sekigahara.co.jp | ● 従業員数 | 390人 |
| ● 代表者 | 代表取締役社長 矢橋 英明 | | |



「学び舎」～「21世紀経営塾」における経営幹部の育成～

将来の経営を担う人材を育成するために「21世紀経営塾」という管理職や各部門のリーダー格を集めた講義を通年で開講している。同塾では、同社の経営に対する考え方の整理や、自身の仕事人生の振り返りをしていく中で、リーダーとしての「ありたい姿」を見出していくことを目的としている。また、同塾に参加している仲間たちとの「ワイガヤ」や、先輩社員のアドバイスによる気づきを整理、プロパーの社員が同社の企業理念を自分の事として捉えられる組織体制を時間をかけながら構築している。



21世紀経営塾

「技術村」～「匠道場」による技術の自己研鑽～

工場内に技術力向上のため練習施設「匠道場」を設置し、技能技術伝承の場として若手社員への指導、社内大会、外部大会に向けた練習、技能検定や資格取得の挑戦の場として活用している。また、技術・技能の向上のため、毎年社内で「セキガハラ技能競技大会」を開催し、若手～中堅技術者の技術の向上に励んでいる。加えて、トヨタが取り入れているJKK(自工程完結)手法を工場及び間接部門に導入し、業務中の課題を洗い出してマニュアル化することで、属人的な作業を極小化している。



匠道場

「文化村」～人と会社と地域のつながりの構築～

「会社はみんなのもの」という創業の精神のもと、工場敷地内に公園・ミュージアムを作る等、人と企業と地域をつなげる取組を積極的に行っている。夏祭り、創立記念イベント等、四季を通して様々なイベントを行い、社員や家族、地域の住民も含め、みんなが参画できるひろばづくりを行っている。また、2018年6月には工場敷地内に「mirai」というカフェをオープンし、カフェ営業のかたわら、様々なワークショップ等を通じて、地域住民の憩いの場、学びの場、交流の場に進化させていく活動を行っている。



cafe mirai